

4. 世界的な交流の中で新たな活気が育まれる圏域（空港開港・万博開催による国内外の交流の拡大）

万博開催を契機として国内外との観光交流の活発化が期待されており、中部地方への観光交流の推進や北陸・近畿との連携強化により、この地域が大交流時代への先導的役割を果たす必要がある。

- (1) 先端技術の集積、環境技術の連携を深める世界メッセを持続的に発展させる
- (2) 交流拡大を促す高速性・快適性・安全性に優れた交通体系をつくる
- (3) 自然・歴史・産業集積等の地域資源を活用し、観光地としての中部の魅力を向上する



日本を代表する商業・宿泊・コンベンションへの機能強化

【主な事業内容】

- ・名古屋駅地区における商業・宿泊・イベント・コンベンション（国際的催事）機能の整備
- ・アフターコンベンション（催事時に催される見学、観光等）機能の強化
- ・国際観光交流拠点の整備
- ・国際化に対応した社会サービス（行政サービス、教育・医療等生活支援機能充実）の充実

高速交通網の整備

【主な事業内容】

- ・第二東名・第二名神の整備（再掲）
- ・中部国際空港の拡充（滑走路の延伸・新設、真の24時間化）（再掲）
- ・中央リニア新幹線の整備（再掲）
- ・安全性確保、テロ等への対応（再掲）
- ・静岡空港及びアクセス道路の整備

観光地間を結ぶ快適な交通ネットワークの整備

【主な事業内容】

- ・観光地ネットワークの構築（観光地間を結ぶ地域高規格道路網等の整備）
- ・景観、観光を楽しむシーニックバイウェイ（寄り道しながら、観光を楽しむ景観性に優れた道路）の整備

- ・観光地間及び観光地内の公共交通の利便性向上
- ・質の高いリアルタイム情報の提供

地域資源を活かした観光交流圏の形成

【主な事業内容】

- ・国際ゲートウェイ名古屋港のにぎわい創出
- ・都心の快適な水辺空間の創造を図る堀川・中川運河等の再生
- ・伊勢神宮の遷宮・名古屋城築城400周年に向けた観光交流
- ・観光交流圏の計画・整備
- ・観光施設のユニバーサルデザイン（誰もが使いやすい設計）化
- ・産業観光などにおける観光資源の発掘・連携
- ・この地域ならではの観光資源の世界的ブランド化（魅力ある観光資源を広域的に組み込んだ旅行商品の開発）
- ・海外向けの観光PR強化（中部における周遊ルートのゴールデンルート化）
- ・地域主体のまちづくりと担い手の育成や教育過程の拡充

(1) 先端技術の集積、環境技術の連携を深める世界メッセを持続的に発展させる

- ～環境産業技術の多国間ネットワークの核となる世界メッセを実現～
- ～国際会議の開催など国際交流拡大のためのホテル等受入容量強化～

中部国際空港の開港、万博の開催など、中部地方において世界規模のプロジェクトが立ち上がり本格的な世界戦略が幕を開けようとしている。そのような中、世界企業の本社部門が名古屋市内に移転するなど、世界企業の集積も始まりつつあり、まさに中部が一つの地方から、中枢性と発信力を備えた地域へと変貌を遂げる千載一遇の機会が到来している。

また、優れた技術集積を持つ中部が、万博の理念を継承し、先端的な環境産業の面で世界をリードしていくことが期待されている。

こうした状況を踏まえ、名古屋において将来の国際的な企業活動や交流に対応し得る世界水準の商業・宿泊・イベント・コンベンション機能の強化を図り、国際的なネットワークの核となる世界メッセを継続的に開催していくことが求められる。特に国際的な会議や見本市等が多数開催されるようコンベンション施設や国際展示場(メッセ)の拡充を図るとともに、国際水準のホテル等宿泊施設を拡充し、国際都市としての名古屋の機能強化を図り、先端的な技術や産業を有する中部が国際的な交流の中枢を担うことが重要である。さらに、万博の理念を継承すべく、環境に関する技術集積・交流・情報発信及びビジネスの拠点として、常設する「エコメッセ」の実現が期待される。

環境産業・環境交流の拠点となる「エコメッセ」のイメージ

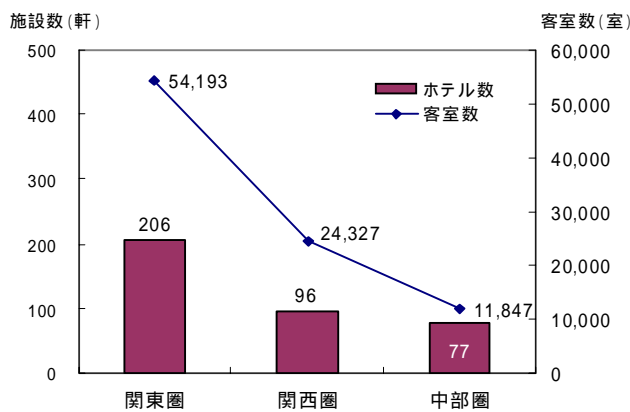


一方、アフターコンベンション（催事時に催される見学、観光等）機能として、国際的な魅力を備えた観光拠点を整備することも重要な視点であり、都心部・臨海部における魅力的な水辺空間の創出や国際的な観光交流拠点を整備することで、国際交流都市としての資質をレベルアップさせる必要がある。

他方、各地で外資系企業の進出が増えつつあることに鑑み、今後のボーダーレス社会の更なる進展を踏まえて、国際化に対応した行政サービスや教育・医療等の拡充を図り、外国人就業者及び子女の生活を支える社会サービスを向上させる必要がある。

三大都市圏の政府登録ホテル・客室数

（外国人の宿泊に適した施設・サービスを提供できるホテル・客室数）



出典) 日本ホテル年鑑 (平成 15 年 3 月末現在)

* 国際観光ホテル整備法に基づく国土交通大臣の登録の認定を受けているホテルの施設数及び基準に適合した客室数を集計

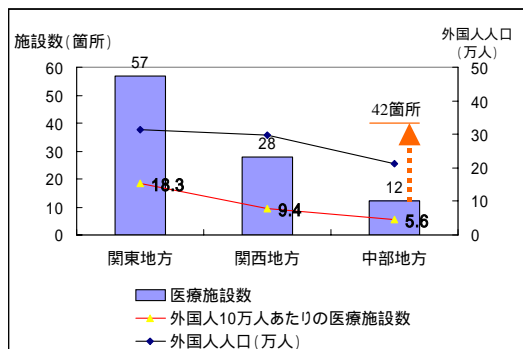
注) 関東圏：東京・神奈川・千葉・埼玉

関西圏：大阪・京都・兵庫

中部圏：愛知・岐阜・三重

三大都市圏における国際化対応施設数の比較

外国語で受診可能な医療施設



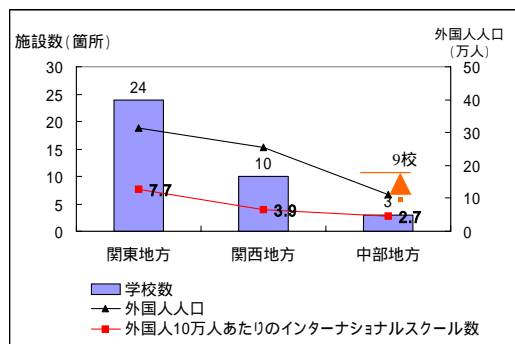
出典) WEBサイト: 「Hospitals & Clinics WEB SITE」
URL: <http://www.on-top.net/hospital/> より

注) 関東地方: 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

中部地方: 愛知県、岐阜県、静岡県、三重県

関西地方: 大阪府、京都府、兵庫県

インターナショナルスクール数



出典) WEBサイト: 「FamiNet 『日本にあるインターナショナルスクール』」 URL: <http://www.faminet.co.jp/> より

注) 関東地方: 東京都、神奈川県

中部地方: 愛知県

関西地方: 大阪府、兵庫県

(2) 交流拡大を促す高速性・快適性・安全性に優れた交通体系をつくる

世界的な交流が活発化し国際的な都市間競争が激化する中で、中部が国際的な交流拠点として発展するためには、3大都市圏の連携を強化し世界有数の拠点性を持った新たな圏域を確立することが重要である。

このため、中央リニア新幹線により、我が国を代表する3大都市圏間の移動時間をさらに短縮することで首都圏への半日交通圏を実現し交流拡大を図る必要がある。さらに、第二東名・第二名神の整備や中部国際空港の拡充など高速化された国内外にわたる交流基盤を確立するとともに、大規模地震等の自然災害やテロ等に対し、交通の安全性・信頼性を確保することが重要である。

中部における広域連携の面では、交流拡大に向けた施策として特に北陸圏を含めたより広域的な交流圏域の形成が望まれる。このため、東海北陸道など南北の交流を促すネットワークの拡充を図ることが求められる。

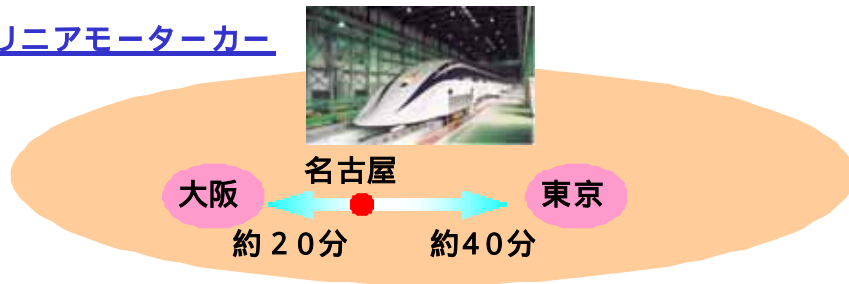
また、各拠点都市においても国際的な交流拡大を通じた活性化が強く期待されているところであり、中部国際空港とのアクセス性や道路・鉄道ネットワークの利便性を向上させることはもとより、例えば静岡空港を活用したアジアとの直接交流を拡大し、新たな活気を育んでいくことが重要である。

他方、リニモ(HSST)やガイドウェイバスの整備等を通じ、当地において先進的な交通圏域が形成されつつあることから、「安全・安心で環境にやさしい新交通システム等を有する」先進的なモデル交通圏域として国内外に発信し、先端技術を通じた世界各地との交流拡大を図ることも重要である。

新幹線 のぞみ(最速)



リニアモーターカー



所要時間の算出方法 のぞみ: のぞみ1号(名古屋 新大阪)、のぞみ100号(名古屋 東京)
リニア: 時速500kmの想定で距離により算出
出典: H17.3.1 JR時刻表

東名・名神



第二東名・名神



所要時間の算出方法 東名・名神: 日本道路公団ホームページ「簡単ハイウェイナビゲータ」による
第二東名・名神: 設計速度と距離より算出

(3) 自然・歴史・産業集積等の地域資源を活用し、観光地としての中部の魅力を向上する

～中部の代表都市としての魅力ある名古屋へのイメージ転換～

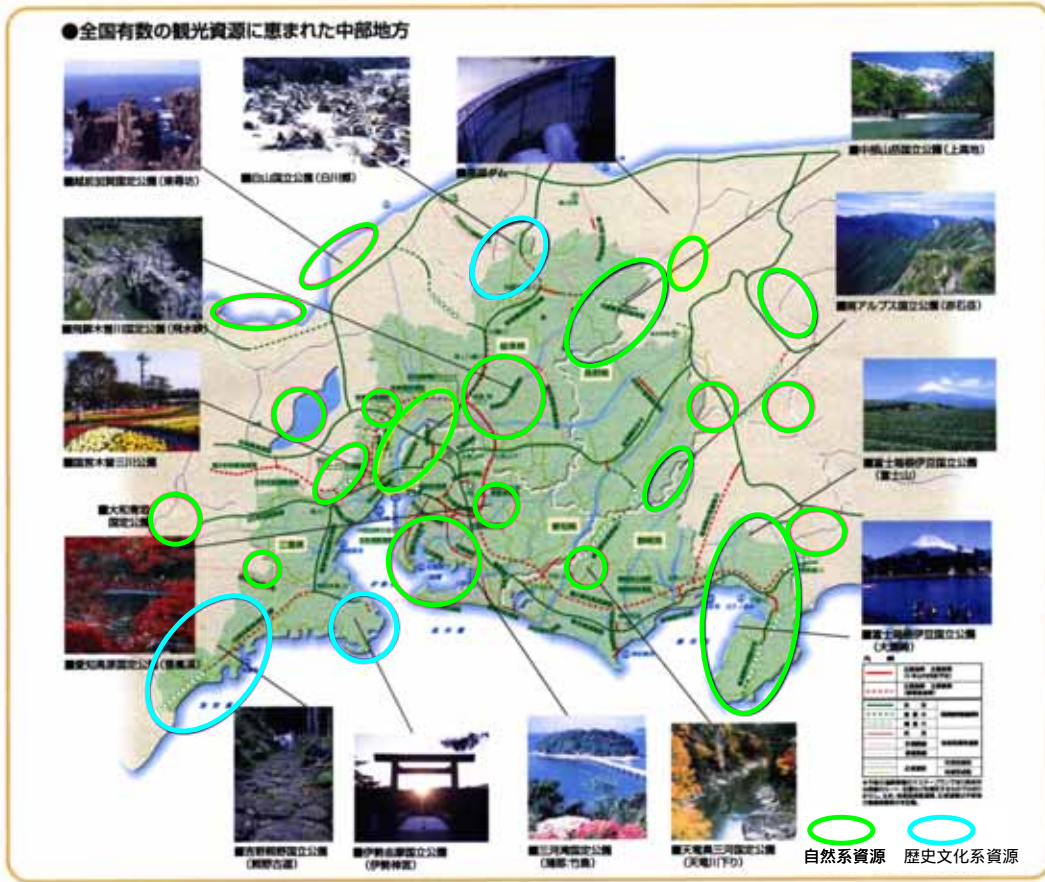
歴史・文化・自然など地域資源を対象にした観光が、人々の余暇活動において着実に位置づけを高めつつあるが、中部は産業観光資源をはじめ自然・歴史・文化など独自の地域資源を多数有しており、都市農村交流にも優れているが、観光資源が広く点在しており、連携や魅力の面で十分な誘客力を有しているとは言い難く、国内外における認知度も低い。

このため、国内外から認められる観光地としてまちなみの景観形成など地域の磨き上げや産業観光等の地域資源の発掘を行い、観光地としての魅力や周遊性のよさをアピールするほか、伊勢神宮の遷宮や名古屋城築城400年などを絶好の機会と捉えて、魅力ある観光資源を広域的に組み込んだ旅行商品を開発するなど、国内外に向けて強力に情報発信し、中部を巡る周遊ルートがゴールデンルートとして世界的に認知されることを目指すことが重要である。それに耐えうる観光地の周遊性・回遊性を高めるために、優れた観光資源を有する観光地間を高速で・快適に結ぶ道路ネットワークの充実及び公共交通ネットワークの整備・改善や景観に優れ、観光資源となるような魅力を備えるシーニックバイウェイ(寄り道しながら、観光を楽しむ景観性に優れた道路)等の道路整備が必要である。

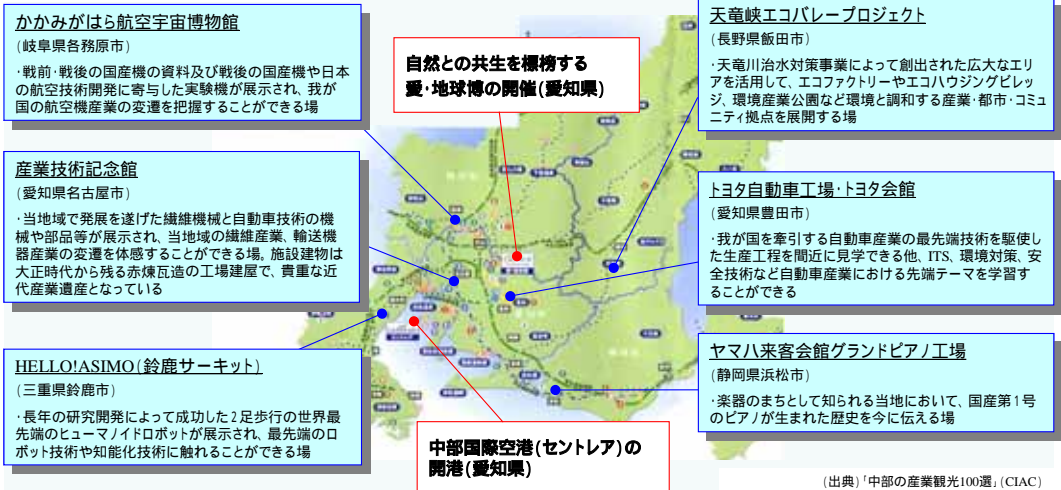
また、観光地としての魅力・活力を向上させる上では、地域づくりを支える人づくりや地域から自発的に地域づくりを進めるといった気運の盛り上がりが必要不可欠である。したがって、観光交流圏の計画・整備を通じて、地域が主体となった観光地づくり・まちづくりを進めるとともに、地域づくりを担う人材の育成を図ることが重要である。

他方、中部の玄関口である名古屋においては、堀川や名古屋港などのウォーターフロントを新たな名古屋の顔として位置づけて再生し、来訪者を魅了する都市としてイメージ転換を図ることが重要である。

広域にまたがる多様な観光資源



< 産業観光資源の一例 >



都市・農村の交流活動の促進

農林水産省では、政府が推進する観光立国の枠組みと連携して、グリーンツーリズム（緑豊かな農村地域において、その自然・文化・人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動）の取り組みをはじめとする都市・農村交流活動を促進するための施策を充実・強化し、平成 21 年度には交流人口が 3,000 万人となることを目指している。



主要プロジェクト

日本を代表する商業・宿泊・コンベンションへの機能強化

名古屋駅地区における商業・宿泊・イベント・コンベンション機能の整備（再掲）

優れた技術集積を持つ中部が国際的に中枢性と発進力を備えた地域へ飛躍するために、名古屋駅地区において、国際水準のコンベンション、メッセ、ホテル、商業等の機能の拡充を図る必要がある。



アフターコンベンション機能の強化（再掲）

コンベンションの魅力を増すために、都心部・臨海部における水辺空間の創出、国際観光交流拠点の整備を行い、アフターコンベンション（催事時に催される見学や観光）機能を強化する必要がある。



国際観光交流拠点の整備（再掲）

国際交流都市として資質をレベルアップさせるために、国際水準のホテルや地域の歴史・文化・自然等の案内・体験施設等国際的な観光交流拠点を整備する必要がある。



高速交通網の整備

第二東名・第二名神の整備（再掲）

3大都市圏の連携を強化するとともに、日本の大動脈を担う東名・名神高速道路と一体となって、信頼性、安定性の確保を図り、東西軸の要となる第二東名・第二名神の整備を引き続き推進する必要がある。



中央リニア新幹線の整備（再掲）

超電導磁気浮上式鉄道（超電導リニア）は、その高速性により我が国の経済・社会構造を抜本的に変革する可能性のある交通機関であり、次世代の超高速大量輸送システムの実現を目指し、一層のコスト低減が期待される高温超電導磁石に関する技術開発を進める必要がある。



中部国際空港の拡充（再掲）

国際的な観光交流拠点をめざし、商業・宿泊・コンベンション機能強化等を進める中部の空の玄関として、中部国際空港の真の24時間化を進めるため滑走路の延伸・新設とともに、ソフト面の更なる整備拡充を推進することが求められる。



静岡空港を介したアジア諸国との交流拡大

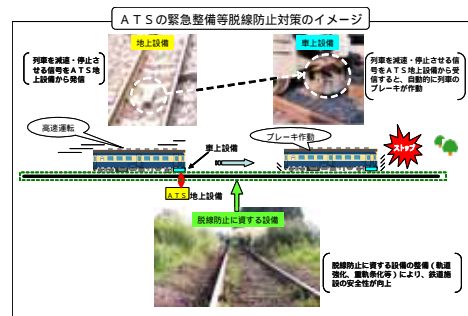
富士山をはじめとした世界的な観光資源を多数有する静岡に直結する国際ゲートウェイとして静岡空港を整備し、アジア諸国からの観光客やビジネス客等の受入を拡大し、観光振興や産業活性化を図る必要がある。



高速交通網の整備

安全性確保、テロ等への対応（再掲）

公共交通の安全性向上のため、鉄道等の大量輸送機関の安全な運行システムの構築やヒューマンエラー事故防止対策の検討、災害、テロ対策等危機管理体制の構築を進める必要がある。



観光地間を結ぶ快適な交通ネットワークの整備

地域高規格道路網の整備

高規格幹線道路を補完し、都市と農山村地域との連携、物や人の交流を促進し、地域の自立的発展や観光産業を支える地域高規格道路網の整備を着実に推進することが求められる。



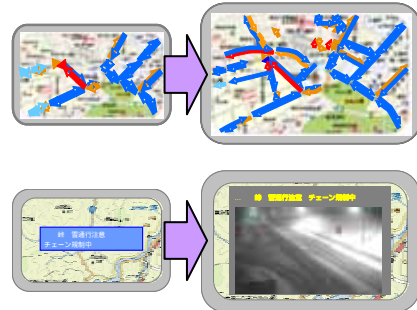
シーニックバイウェイの推進

沿道景観の保全と地域の活性化等を目指して、地域住民と行政が連携し、魅力ある観光空間づくりなどを提案する取り組みである「シーニックバイウェイ（寄り道しながら、観光を楽しむ景観性に優れた道路）」等の取り組みを積極的に行っていくことが必要である。



リアルタイムな道路情報の提供

円滑な交通確保、環境の改善を図るため、道路交通情報の広域化・精緻化した新たなVICIS（道路交通情報通信システム）サービスを展開するとともに、音声、静止画像を活用した分かり易い情報提供を行っていく必要がある。



静止画で分かり易い情報提供

海上クルーズネットワークの整備

観光地の周遊性・回遊性を高め、また国内外との交流・交通手段としての利用拡大が見込まれる海上クルーズについて、そのネットワーク化が求められる。



観光地間を結ぶ快適な交通ネットワークの整備

観光地間及び観光地内の公共交通の利便性向上

循環バスの導入等による移動手段の魅力増進、駅での観光情報・乗換案内等の提供、観光施設と連携した運賃の割引など公共交通の利便性の向上が求められる。



質の高いリアルタイム情報の提供

ITを活用し、観光客のニーズに合ったアクセス、宿、食、遊、学、体験、移動、イベント、土産物等の観光情報を高質化するとともに、リアルタイムで提供できる体制の整備を行う必要がある。



地域資源を活かした観光交流圏の形成

国際交流拠点としての名古屋港のみなとづくり

国際ゲートウェイである名古屋港において、市民や観光客が集い憩うことができる親水空間を整備することにより、港湾の多面的な利用の推進が期待される。



環境と調和した美しい近代都市の構築（中川運河の再生）

みなとと都心を結ぶ快適な水辺空間環境軸の形成を理念とした静穏な運河風景の眺望や憩える空間の創出等、水辺空間を生かした緑地整備・水質浄化を推進する必要がある。



マイタウンマイリバー事業

平成4年「マイタウン・マイリバー整備河川」に認定された堀川は、都心の中心市街地において、河川改修事業と沿川の市街地整備に関する事業とを一体的に実施し、双方の事業の円滑な推進と良好な水辺空間の創出を図ることが重要である。



観光交流圏の計画・整備

交流人口増大による地域活性化を図るため、歴史・文化等のテーマによりストーリー化された広域的で魅力ある観光交流圏の計画・整備を行う必要がある。このため、広域レクリエーションの核として、花卉園芸植物園（仮称）をはじめ国営木曽三川公園の整備などが求められる。



花卉園芸植物園（仮称）

地域資源を活かした観光交流圏の形成

観光施設のユニバーサルデザイン化

高齢者、障害者、子供連れの旅行者等全ての人に快適な旅行を提供するため、宿泊施設・文化施設を含む観光施設のユニバーサルデザイン化を推進する必要がある。



産業観光などにおける観光資源の発掘・連携
産業観光を核とする交流圏域として発展させるため、産業遺産等の発掘を行うとともに、各産業施設・博物館・資料館等について、他の観光資源との連携も含めたネットワーク化を図り、産業観光モデルルートを確立する必要がある。



この地域ならではの観光資源の世界的ブランド化

点在する観光資源の連携を強化して魅力の向上を図り、国内外から認められる観光地としての地域の磨き揚げを行うとともに、伊勢神宮遷宮などを機会として捉え国内外に向け情報発信し、観光資源の世界的ブランド化を図る必要がある。



海外向けの観光PR強化（中部における周遊ルートのゴールデンルート化）

中部の優れた自然・歴史・文化・産業などの観光資源を、道路や公共交通のネットワークの整備等によりその周遊性を高め、中部国際空港をゲートウェイとする中部を巡る周遊ルートを造成するとともに、海外での宣伝活動を行う必要がある。



地域資源を活かした観光交流圏の形成

地域主体のまちづくりと担い手の育成や教育課程の拡充

観光カリスマなど意欲の高い民間人の積極的な活動などによる地域が主体となった観光地づくりの支援を行うとともに、人材育成のためのテキストカリキュラム策定、研修等人材育成の推進を図る必要がある。

